

(様式第1号)

エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	全農エネルギー株式会社				
代表者名	氏名	和田 雅之	役職名	代表取締役社長	
主たる事務所の所在地	〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町1丁目5番18号				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する小売電気事業者			
	<input type="checkbox"/>	その他の事業者			
主たる事業の概要	1. 石油・LPガス類の保管管理、受払、運送、販売および保安。 2. 石油・LPガス類の貯蔵等に関わる施設および設備機器類の検査、運営等。 3. 自動車および自動車部品・用品類の賃貸および販売。 4. 太陽光発電等の新エネルギーに関わる設備機器類の施工、販売等。 5. 電力の販売、太陽光発電所の運営。				
		基準年度実績	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
電力供給量(総量)	千kWh	466,494	571,007	674,801	
電力供給量(長野県)	千kWh	10,235	14,417	18,009	

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度～	2025	年度
報告対象年度	2024	年度					

3 公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	電力事業部 電話番号：03-6630-8830 担当者に計画書の複写をメールで送付
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

■電力供給に係る方針

供給するエネルギーの温室効果ガスの排出係数を低減するために、卒FIT電力の買取、太陽光発電の電力活用を実施しております。今後も再生可能エネルギーの利用率向上、非化石証書の調達に努めます。

■その他に係る方針

お客様にて電気使用量を確認できるシステムを導入することで、お客様と共に省エネ・温室効果ガスの低減に取り組めます。

5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制

■社内に「省エネルギー推進委員会」を設置し、社内全体のエネルギー消費原単位又は電気需要平準化評価原単位を中長期的にみて年平均1パーセント以上低減させることを目標とし、会社および全従業員が省エネに取り組んでおります。

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の量の削減に関する目標等

基準年度	基礎排出係数	0.000549	t-CO ₂ /kWh
2022年度	調整後排出係数	0.000544	t-CO ₂ /kWh
目標年度	目標排出係数	0.000539	t-CO ₂ /kWh
2025年度	目標削減率	1.82	%
目標設定に関する説明	排出係数の低い発電設備からの調達を行うことで、排出係数削減を目指します。		
第一年度	基礎排出係数	0.000533	t-CO ₂ /kWh
	調整後排出係数	0.000538	t-CO ₂ /kWh
2023年度	削減率	2.91	%
	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO ₂ 量	304	千t-CO ₂
排出係数等の増減理由	太陽光発電設備の設置、卒FIT電力の買取量増加、排出係数の少ない電力の調達によるものです。		
第二年度	基礎排出係数	0.000509	t-CO ₂ /kWh
	調整後排出係数	0.000585	t-CO ₂ /kWh
2024年度	削減率	7.28	%
	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO ₂ 量	343	千t-CO ₂
排出係数等の増減理由	間接オークションによるJEPXの調達量が増えたため排出係数が増加しましたが、再生可能エネルギー発電設備の新規開発および温室効果ガスの排出係数の少ない電源を優先するよう努めております。		
第三年度	基礎排出係数		t-CO ₂ /kWh
	調整後排出係数		t-CO ₂ /kWh
2025年度	削減率		%
	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO ₂ 量		千t-CO ₂
排出係数等の増減理由			

(様式第1号)

7 上記6の目標を達成するための措置

卒FIT電力の買取、太陽光発電の電力活用を実施しております。今後も再生可能エネルギー電力の利用向上の調達に努めます。

8 調達する電気の電源構成に関する見通しと実績

区分	調達する電気の電源構成の割合 (W・h比)					
基準年度	石炭火力	25 %	原子力	0 %	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	3 %
	LNG火力	30 %	水力	2 %	卸電力取引所 ^{※3}	21 %
2022 年度	石油火力	1 %	FIT電気 ^{※2}	9 %	その他 (他社から卸売を受け、発電所の特定が出来ない電源)	9 %
最終年度における見通し ^{※1}	石炭火力	25 %	原子力	0 %	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	3 %
	LNG火力	30 %	水力	2 %	卸電力取引所 ^{※3}	21 %
2025 年度	石油火力	1 %	FIT電気 ^{※2}	9 %	その他 (他社から卸売を受け、発電所の特定が出来ない電源)	9 %
第一年度	石炭火力	46 %	原子力	0 %	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	1 %
	LNG火力	24 %	水力	1 %	卸電力取引所 ^{※3}	22 %
2023 年度	石油火力	0 %	FIT電気 ^{※2}	3 %	その他 (他社から卸売を受け、発電所の特定が出来ない電源)	3 %
第二年度	石炭火力	45 %	原子力	0 %	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	1 %
	LNG火力	19 %	水力	1 %	卸電力取引所 ^{※3}	25 %
2024 年度	石油火力	0 %	FIT電気 ^{※2}	2 %	その他 (他社から卸売を受け、発電所の特定が出来ない電源)	7 %
第三年度	石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%
	LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 ^{※3}	%
2025 年度	石油火力	%	FIT電気 ^{※2}	%	その他 ()	%
備考	<p>■卸電力取引所から調達した電気には、水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギーなど様々な電源から供給された電気が含まれます。</p> <p>■他社から調達した電力 (インバランス供給を含む) のうち、</p> <p>①電源構成が公表されている、若しくは電源構成情報の提供を受けた電力については、当該構成に基づいて按分し、上記の種類ごとに仕分けています。</p> <p>②電源構成に関する情報が無く、発電所の特定ができないものについては、「その他」の取扱いとしています。</p>					

※1 「最終年度における見通し」欄には、基準年度時点における事業者の電気の調達計画等の見通しに基づき、特定期間の最終年度を算定期間とする電源構成の概算の見込み割合を記載する。

※2 「FIT電気」とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく認定施設から買い取られた電気で、その調達費用の一部が全電気利用者が負担する賦課金により賄われている電気を指す。

※3 「卸電力取引所」とは、電力の卸取引を行う取引所であって、電気事業法第97条第1項に規定される指定を受けた卸電力取引所を指す。

(様式第1号)

9の1 再生可能エネルギー源により発電された電気の調達量に関する見通しと実績

区分	調達量				再生可能エネルギー源の種類 (内訳)				
					電源	種類別調達量			
	県内分		再生可能エネルギー電気 (FIT電気を除く)	FIT電気					
基準年度	15,379	千kWh	342	千kWh	太陽光	0	千kWh	0	千kWh
					風力	0	千kWh	0	千kWh
					水力	6,843	千kWh	0	千kWh
					バイオマス	0	千kWh	0	千kWh
					その他 (<small>相対先再生エネルギー源詳細不明</small>)	0	千kWh	8,536	千kWh
2022 年度									
最終年度における見通し	16,000	千kWh	400	千kWh	太陽光	0	千kWh	0	千kWh
					風力	0	千kWh	0	千kWh
					水力	7,000	千kWh	0	千kWh
					バイオマス	0	千kWh	0	千kWh
					その他 (<small>相対先再生エネルギー源詳細不明</small>)	0	千kWh	9,000	千kWh
2025 年度									
第一年度	37,409	千kWh	941	千kWh	太陽光	536	千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力	9,658	千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 (<small>相対先再生エネルギー源詳細不明</small>)	5,531	千kWh	21,684	千kWh
2023 年度									
第二年度	63,227	千kWh	1,687	千kWh	太陽光	935	千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力	2,390	千kWh		千kWh
					バイオマス	40,824	千kWh		千kWh
					その他 (<small>相対先再生エネルギー源詳細不明</small>)	4,555	千kWh	14,523	千kWh
2024 年度									
第三年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 (<small>相対先再生エネルギー源詳細不明</small>)		千kWh		千kWh
2025 年度									
備考	<p>・再生可能エネルギー発電設備の新規設置を推進しております。他社からの電源調達に際しては温室効果ガスの排出係数の少ない電源を優先するよう努めております。</p>								

(様式第1号)

9の2 再生可能エネルギーの普及・供給拡大に関する取組

■ 卒FIT電力の買取、太陽光発電の電力活用を実施しております。
■ 再生可能エネルギー100%メニューを設定しています。

10 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出の量の削減の研究と取組

■ 自社発電所として、太陽光発電開発に取り組んでいます。

11 需要家の省エネルギー対策の推進に関する取組

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	電気だけでなくガスも併せた最適な機器導入およびエネルギー供給を提案しています。
家庭・事業者の省エネルギー対策への協力	・需要期の電力逼迫時にはお客様の節電量に応じたポイント還元を行っております。 ・代理店と協力し電力診断事業を行い、需要家に最適なエネルギー供給を提案しています。
その他	お客様の省エネに役立てて頂けるよう、お客様にて電気の使用状況についてインターネットを通じて確認できるシステムを導入しています。また、需要期の電力逼迫時にはお客様の節電量に応じたポイント還元を行っております。

※ 需要家に対して節電や省エネを誘導する料金体系を導入している場合は、「その他」に記載する。

(様式第1号)

12の1 地域との連携に関する取組の実施状況

基準年度までに実施した内容	無し
第一年度実績	無し
第二年度実績	無し
第三年度実績	

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	無し
第一年度実績	無し
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none">・社内にて省エネルギー推進委員会を設置。社内全体のエネルギー消費原単位又は電気需要平準化評価原単位を中長期的に見て年率平均1パーセント以上低減させることを目標とし、会社及び全従業員が省エネに取り組んでおります。・需要期の電力逼迫時にはお客様の節電量に応じたポイント還元を行っております。
第三年度実績	

(様式第1号)

1.3 自由記載欄

A large rectangular area with a light green background and a black border, intended for free text entry. This area is currently empty.